

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

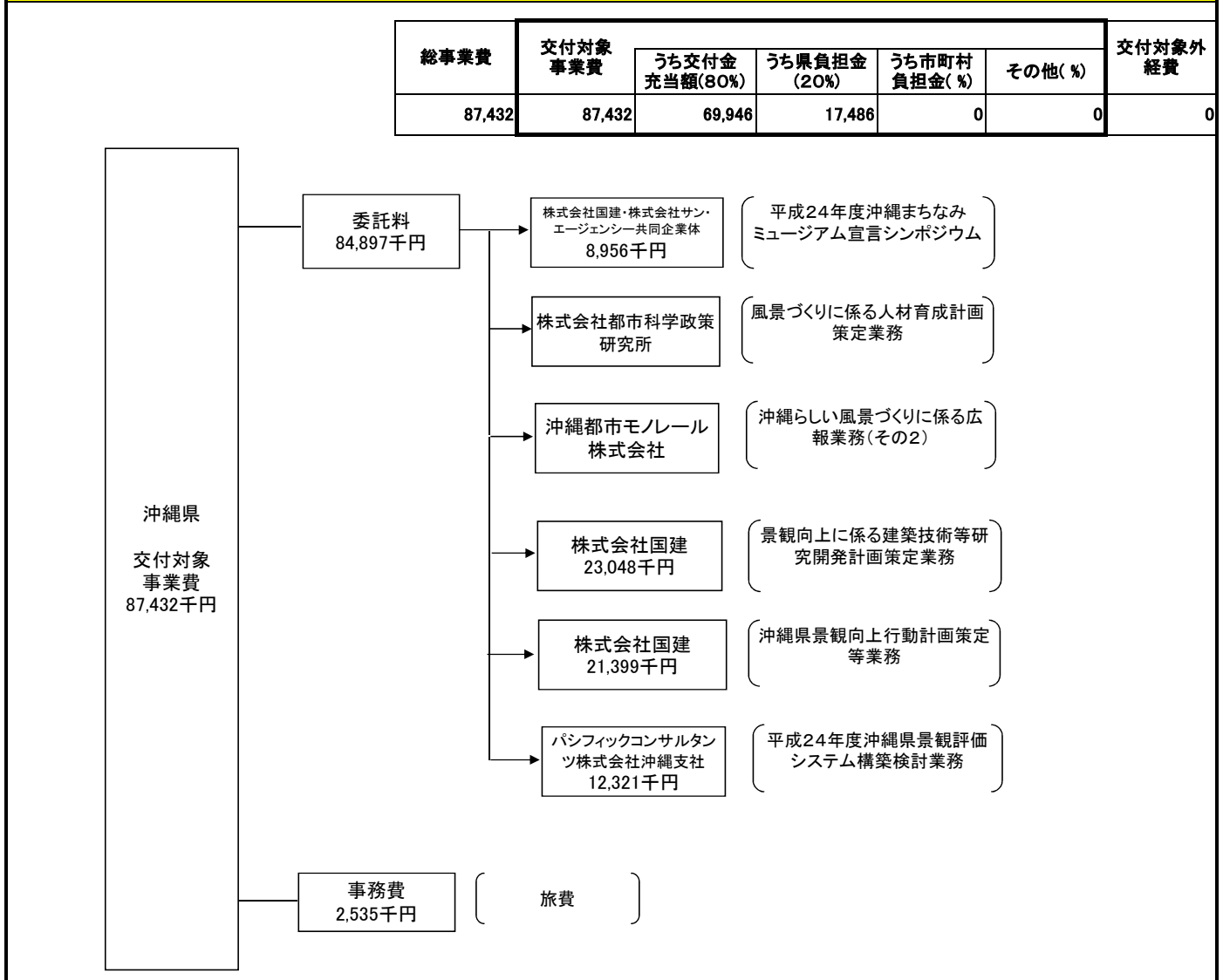
事業番号・事業名	121	沖縄らしい風景づくり推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア		
担当部課名	土木建築部都市計画・モノレール課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい風景づくり		
					Ⅲ-3-(2)		
事業内容	<p>普遍的観光資源である沖縄独特の風景・まちなみ景観の創生を図ることを目的に、県民の風景づくりに対する意識向上に向けたシンポジウム開催等広報啓発、風景づくりに係る人材育成、景観向上行動計画の策定、沖縄県景観向上行動協議会の設立運営、景観向上に係る建築技術等の技術研究開発及び県発注公共工事に係る景観評価システムの構築・実施を行う。</p> <p>平成24年度は、シンポジウムの開催等広報啓発、風景づくりに係る人材育成計画策定、建築技術等研究開発計画策定、景観評価システムの構築検討、景観向上行動計画の策定及び景観向上行動協議会の設立を実施する。</p>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 (単位:千円)			24年度		25年度	26年度	27年度
			うち交付金充当額				
	予算の状況	(a) 当初予算額	30,130	24,104			
		(b) 予算現額	90,996	72,796			
		(c) 増減額 (b-a)	60,866	48,692			
		(d) 前年度繰越額	-	-			
		A. 計 (b+d)	90,996	72,796			
	B. 執行済額		87,433	69,946			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率 (%) (B/A)		96.1%	96.1%			
予算の状況の説明		委託費の入札残等によるもの。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	シンポジウムの開催	目標	1件				
		実績	1件				
	風景づくりに係る人材育成計画、景観向上に係る建築技術等技術研究開発計画、景観向上行動計画の策定	目標	3計画策定				
		実績	3計画策定				
公共事業景観評価システムの構築検討	目標	33%					
	実績	33%					
達成状況説明	<p>風景に対する県民の意識向上を目的としたシンポジウムの開催、県発注公共事業に係る景観評価システムの構築検討、国、県、市町村、景観整備機構及び関連業界団体で景観向上行動計画の策定、風景づくりに係る人材育成計画及び景観向上に係る建築技術等研究開発計画の策定及び景観評価システムの構築検討を実施した。</p> <p>沖縄らしい風景づくりの取り組みを実施した結果、活動目標の全てを実施し、目標を達成することができた。</p>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)
	シンポジウムの参加者数	目標	-	200人			-
		実績	0人	362人			-
	風景づくりに係る人材育成計画、景観向上に係る建築技術等技術研究開発計画、景観向上行動計画等の策定	目標	-	3計画策定			-
		実績	0計画	3計画策定			-
	公共事業景観評価システムの構築検討	目標	-	33%			-
		実績	0%	33%			-
	(参考) 景観アセスメント数	目標	-	-			10件(28年度)
実績	-	-				-	
進捗状況説明	<p>風景に対する県民の意識向上を目的としたシンポジウムの開催した結果、当初目標を上回る362人の県民が参加し、啓発を行うことができた。人材育成計画及び建築技術等研究開発計画については、検討委員会において平成25年度以降の実施計画を策定した。景観評価システムについては、検討委員会においてシステムの素案及び道路・河川・港湾に係るチェックリスト案を策定した。</p>						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	風景に対する県民の意識向上を目的としたシンポジウムを開催した際、パネリストを5名招いたところ1人あたりの発言時間が短く十分な議論がなされていなかった。 人材育成計画及び建築技術等研究開発計画、景観評価システムは平成24年度に実施した計画策定について予算要求時までに事業の具体的内容が決まらなかった。	シンポジウム運営については、パネリストを2～3名程度とし、1人あたりの発言時間を確保する対応を検討する。また、昨年度は開催地をモノレール駅周辺と限定したが、今後はより参加しやすい開催地を検討し別の地域で実施する。 人材育成計画及び建築技術等研究開発計画、景観評価システムは平成24年度に策定した計画を基に、早期に実施できるよう関係部局と調整し取り組んで行く。

今後の取り組み方針

- ・県民の風景づくりの意識向上に対する広報啓発の実施に向け取り組んでいく。
- ・平成24年度に策定した計画を基に、今後、風景づくりに係る人材育成、景観向上に係る建築技術等研究開発の実施に向け取り組んでいく。
- ・景観向上行動協議会における景観向上に係る横断的検討実施及び行動計画の見直しを行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 用	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の流 れ、費 用	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は公募型プロポーザル方式により企画提案内容組織体制、実績、技術者の所属等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	